様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 660104	友好都市中学生派遣事業	主管課名	学校教育課
この事務事業の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		
	施策	多様な文化に親しみ、ふれあえるまち	課長名	水野　克弘
	基本事業	国際交流活動の充実		

(1)事業の概要

友好都市コロンバス市へ市内の代表中学生を派遣し、国際交流、地域間交流を推進する。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	研修回数	回
②	選考人数	人
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

例年、友好都市コロンバス市へ派遣する中学生を４月に募集、５月に選考し、友好都市へ代表者を８泊１０日で派遣している。現地では、市長への表敬訪問、市内視察をしたり、ホームステイ先の子どもと学校での生活を体験している。（三好中４名、北中４名、南中４名、三好丘中４名　合計１６名）

26年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市内中学２年生

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	中学２年生徒数	人
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

異文化を直に体験することにより、国際的視野を広げ、国際理解を深める

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	交流を深めたと感じた生徒数	人
②	コロンバス市派遣団団員生徒数	人
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

自主的な交流活動をしてもらう

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	国際交流の推進が重要だと思う人の割合	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	回	8	8	8	8	8	8
	②	人	16	16	16	16	16	16
	③							
(6)の対象指標	①	人	768	772	786	803	755	788
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	人	16	16	16	16	16	16
	②	人	16	16	16	16	16	16
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%	62	62	62	62	62	62
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	10	項	03	目	02

(11)コスト

		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	5,909	5,605	6,313	6,313	6,313	6,313
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	4,552	5,010	4,323	4,323	4,323	4,323
	一般財源	千円	1,357	595	1,990	1,990	1,990	1,990
人件費B		千円	1,733	2,076	2,076	2,076	2,076	2,076
	正職員従事時間×人数	時間×人	230 × 2	280 × 2	280 × 2	280 × 2	280 × 2	280 × 2
	正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0
その他費用C		千円	187	205	205	205	205	205
トータルコストA+B+C		千円	7,829	7,886	8,594	8,594	8,594	8,594
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　人	10	10	11	11	11	11
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	660104	友好都市中学生派遣事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
平成１０年　から	特になし
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
「２１世紀の教育提携書」に基づく交流の推進を図るため	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
□変化していない ■変化している → 変化した内容：海外から帰国する生徒も増えており、国際的な感覚が増加している。	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	みよし市国際交流事業補助金交付要綱	
			この事務を行う根拠又は理由	国際理解教育並びに地域理解教育の推進	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	派遣する中学生の負担を考え、現行の事業内容が妥当である。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない	内容
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	■ある □ない	内容	ホテル泊の日程をホームステイに変更することによって事業費削減はできる。	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						